

平成28年度 第2回 桜井市地域公共交通活性化再生協議会 次第

日時：平成29年1月30日（月） 午後3時から

場所：桜井市役所本庁 4階 第一委員会室

1. 開 会

2. 挨 拶

3. 議 事

1) コミュニティバス実証運行結果について

資料1-1 平成27～28年度 コミュニティバス実績

資料1-2 平成27～28年度 コミュニティバス循環路線実績

資料1-3 コミュニティバス循環路線 実証運行結果

2) 高家デマンドタクシー実証運行結果について

資料2-1 高家デマンドタクシー運行概要

資料2-2 平成27～28年度 高家デマンドタクシー実績

資料2-3 高家デマンドタクシー 実証運行結果

3) 地方公共交通確保維持改善事業の自己評価について

資料3 地方公共交通確保維持改善事業・事業評価

4) 公共交通の利用啓発について

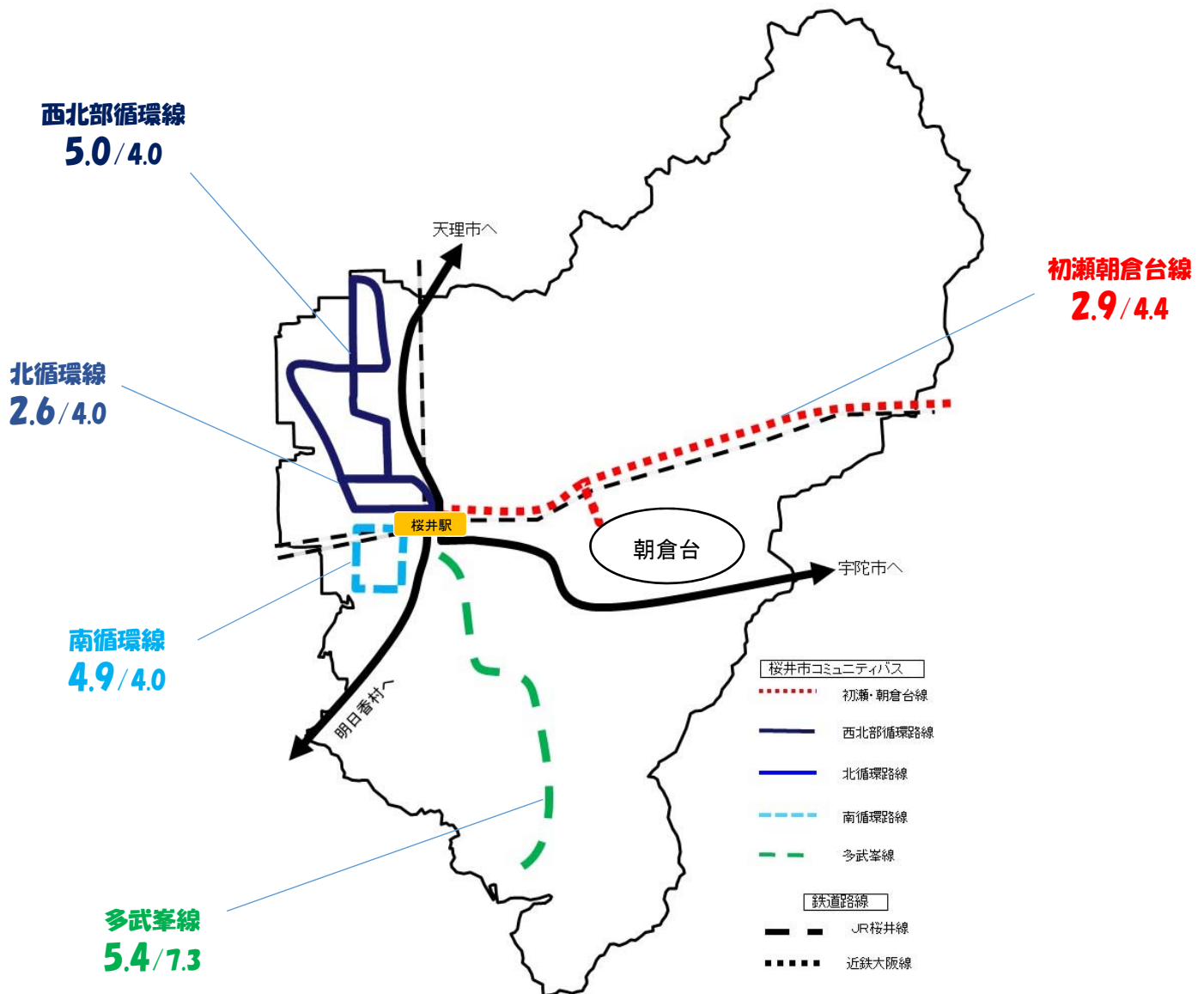
資料4-1 公共交通の利用啓発事業

資料4-2 桜井市の観光客 動向分析

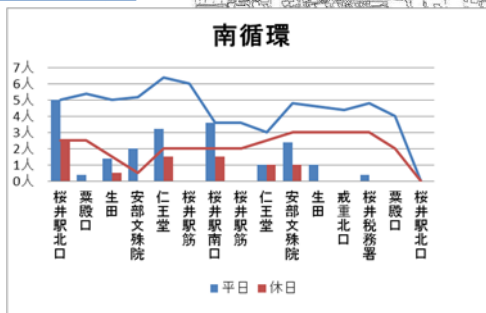
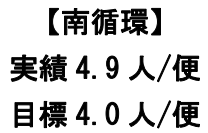
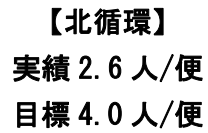
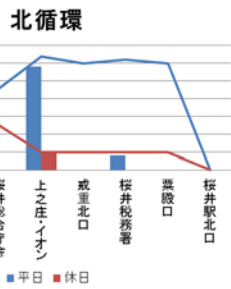
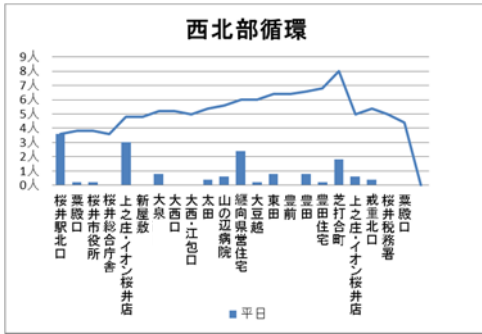
平成 27 年度（平成 27 年 6 月～平成 28 年 10 月）コミュニティバス実績

	輸送人員	実績	目標	備考
初瀬朝倉台線	24,387	2.9	4.4	朝倉台地域からの利用者減
西北部循環路線	5,076	5.0	4.0	徐々に住民に浸透し、利用者増加傾向
北循環路線	8,001	2.6	4.0	西北部循環との役割重複
南循環路線	15,053	4.9	4.0	徐々に住民に浸透し、利用者増加傾向
多武峯線	52,259	5.4	7.3	秋季の観光客にほぼ依存

※実績・目標は[人/便]



■循環路線ルート



<凡例>

- 新設バス停
- 既存バス停
赤字はベイあり

【西北部循環】
実績 5.0 人/便
目標 4.0 人/便

西北部
循環路線

北循環路線

南循環路線

▶ 初瀬・朝倉台線

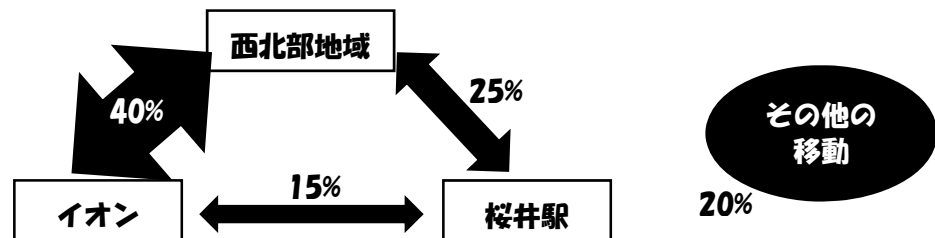
【路線概要】

	平日運行	休日運行	運賃
西北部循環線	3 便／日	なし	1 9 0 円均一
北循環線	6 便／日	6 便／日	1 9 0 円均一
南循環線	6 便／日	6 便／日	1 9 0 円均一

【循環路線の実証運行結果】

○ 西北部循環線

- ・ 1 便あたりの利用者は平均して 5. 0 人で、目標値を上回っている。
- ・ 利用目的としては、西北部地域住民のイオンへの移動が最も多い。大半が高齢の女性であり、買い物利用としての需要の高さがうかがえる。



- ・ 山の辺病院への利用は少なく、病院の運行している桜井駅からの送迎バス（無料）と競合している可能性がある。アンケートによると、桜井駅で南循環線へ乗り継ぎ、済生会中和病院へ通院していることがわかった。
- ・ 休日運行への要望もある。

○ 北循環路線

- ・ 1 便あたりの利用者は平均して 2. 6 人であり、目標値を下回っている。
- ・ 利用者のうち、8 割以上がイオンと桜井駅を発着地としており、桜井市役所や桜井税務署、桜井市保健福祉センターへの利用が極端に少ない。
- ・ 平日午前～14 時にかけての利用が多く、利用者の大半が高齢者ではある。

○ 南循環線

- ・ 1 便あたりの利用者は平均して 4. 9 人であり、目標値を上回っている。
- ・ 主に済生会中和病院への通院に利用されており、平成 27 年 6 月から桜井駅での乗り継ぎが必要になったことから、運行当初は利用が少なかった。しかし、徐々に増加傾向にあり、利用者が乗り継ぎに慣れてきたものと考えられる。

【実証運行結果の分析】

西北部循環路線については、予測以上の需要があり、また、休日運行を希望するアンケート回答もあることから、ニーズに合致すれば今以上の利用を見込むことが出来る。ただし、現状の北循環線・南循環線の休日運行実績を見る限り、平日運行実績を大きく下回っているため、これを考慮して休日運行本数を決定する。

北循環路線は、西北部循環路線とは異なった目的で利用できるよう設置したが、実際には桜井駅とイオン間の移動が大半をしめており、西北部循環路線と役割が重複してしまっている。また、南循環路線は乗り継ぎの利便性が非常に重要なポイントとなるため、循環路線同士だけでなく、初瀬朝倉台線や多武峯線も含む路線間の乗り継ぎを考慮してダイヤを設定する必要がある。

【本格運行の方向性】

西北部循環路線 ⇒ 増便

北循環路線 ⇒ 西北部循環路線との統合

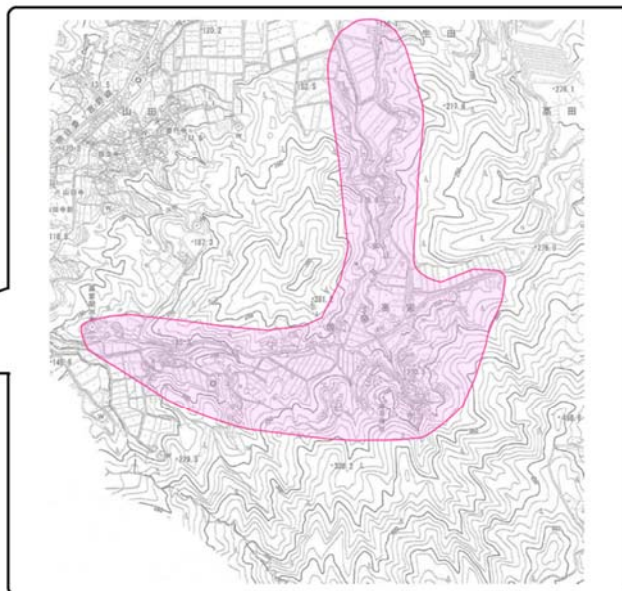
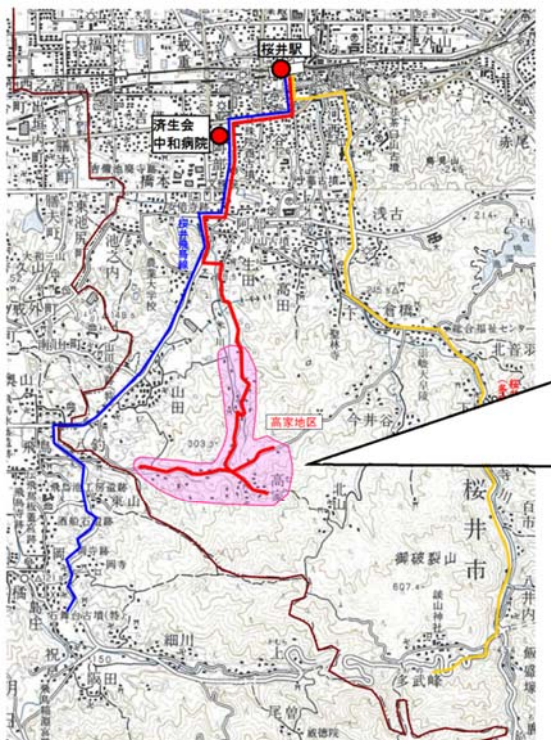
南循環路線 ⇒ 乗り継ぎ利便性の強化

【路線再編の時期】

本格運行開始時期については、以下の理由から平成29年6月が適当であると考える。

- ・ 実証運行開始時期が平成27年6月であり、期間は2年間であるため
- ・ 前回の再編が6月であったため、今後は市内のバスルート・ダイヤ再編時期を6月に固定し、市民の混乱を防ぐ
- ・ 4月当初に再編する場合に再編費用を市の会計年度内に確保するのは難しく、また、再編準備期間が2ヶ月程度必要であることから、6月再編が望ましい

■高家デマンド型乗合タクシー



高家デマンド型乗合タクシー交通手段	
概要	デマンド型乗合タクシーを運行する。 2年間の実証運行とし、実証結果を用いて29年度以降の交通手段について再度検討する。
対象者	高家に住所を持ち、事前登録した者
運行ルート	高家地区～済生会中和病院～桜井駅南口
運行便数	週に2日（火曜日、木曜日） 1日に2便（9時 高家発 15時 桜井駅発）
設定運賃	1回乗車当り 300 円 （1歳以上小学生以下、身体障害者手帳を所持している人 100 円）

高家デマンド型乗合タクシー 実証運行実績

平成27年度…平成27年6月～平成28年4月

平成28年度…平成28年4月～平成28年12月

【利用者数】	平成28年度	平成27年度	上之郷H27
交付件数(登録件数)[件]	126	126	852
利用者合計人数[人]	71	87	1,750
(火曜日)	43	37	
(金曜日)	28	50	

【実績詳細】			
運行日数[日]	75	85	147
運行台数[台]	61	72	622
予約便[便]	61	72	441
予約の無い便[便]	89	100	37
予約率[%]	40.7%	41.9%	92.3%
1便毎の平均乗車人数[人/便]	1.2	1.2	4.0
1台毎の平均乗車人数[人/便]	1.2	1.2	2.8

【収支】			
運行経費[円]	159,820	188,640	3,259,280
運賃収入[円]	21,300	26,100	806,600
収支差額[円]	138,520	162,540	2,452,680

【利用頻度詳細】				
便毎の平均乗車人員 [人/便]	9:00	1.2	1.2	(※)7.2
	15:00	1.0	1.2	(※)3.9
便毎の予約率	9:00	77.1%	61.6%	(※)91.0%
	15:00	11.5%	22.1%	(※)94.0%
交付件数(登録件数)[件]		126	126	852
既利用者数[人]		7	5	85
うち10回未満利用者[人]		5	3	47
うち10回以上利用者[人]		2	2	38
登録者のうち利用者の割合		5.6%	4.0%	10.0%

※ 午前、午後の値を平均した数値

【高家デマンドタクシーの実証運行結果】

- ・ 平成27年度～平成28年度通して利用が少なく、予約があった便の割合も半分を下回っている。
- ・ 1台あたりの乗車人員（乗合率）が1.2人/台と低く、効率が悪い路線となっている。

【実証運行結果の分析】

高家地域の公共交通へのニーズを測るための実証運行として実施したが、現状利用は少なく、ダイヤの半分以上の便が運休となっている。また、1度でも利用した事がある方の割合が5%程度と低いことから、地域の移動手段として浸透していないことがうかがえる。

しかし、利用者の割合は2年間で増加しており、また、一部では年間に10回以上利用している＝生活交通として日常的に利用している方もいるため、ニーズを生み出す余地があることがうかがえる。地域の移動ニーズを発掘するためには継続した長期的な取り組みが必要であるため、運行を継続し、同時に利用方法の周知などの啓発を行っていくことが必要であると考えます。また、継続する際には、ニーズを確保するために路線やダイヤ等の運行条件を地元と再調整したうえで運行する。

【今後の方向性】

- ・ 運行条件の調整
- ・ 運行の継続
- ・ 地域住民に対する普及啓発

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

平成29年1月30日

協議会名: 桜井市地域公共交通活性化再生協議会

評価対象事業名: 地域公共交通確保維持事業(地域内フィーダー系統)

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通ネットワーク計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C 評価	【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C 評価
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス(多武峯線) 運行区間: 桜井駅南口～談山神社 運行期間: 平成27年10月～平成28年9月	【前回の事業評価結果】 利用ニーズに合わせた公共交通の再編	A	計画通り適切に実施された。	B
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス(初瀬・朝倉台線) 運行区間: 桜井駅北口～吉隠 運行期間: 平成27年10月～平成28年9月	【反映点】 平成27年6月にコミュニティバスの再編を行った。再編内容は以下の通り ＜既存路線の組換え＞ 初瀬線、朝倉台線	A	計画通り適切に実施された。	B
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス(南循環線) 運行区間: 桜井駅南口～済生会中和病院 運行期間: 平成27年10月～平成28年9月	初瀬線、朝倉台線 北循環路線 南循環路線 ＜新規路線の設置＞ 西北部循環路線 ＜変更なし＞ 多武峯線	A	計画通り適切に実施された。	A
奈良交通株式会社	系統名: 桜井市コミュニティバス(西北部循環線) 運行区間: 桜井駅南口～市西北部 運行期間: 平成27年10月～平成28年9月		A	計画通り適切に実施された。	A
日の丸交通株式会社	系統名: 桜井市デマンド型乗合タクシー 運行区間: 上之郷地域～済生会中和病院 運行期間: 平成27年10月～平成28年9月	【前回の事業評価結果】 住民要望に応え、利用範囲の一部拡大 【反映点】 計画通り利用範囲を拡大した	A	計画通り適切に実施された。	A

※評価にあたっては、「事業評価を通じた地域公共交通確保維持改善事業の効果的実施にむけて(ガイダンス)」(平成25年11月)を参照し、実施。

桜井市地域公共交通活性化再生協議会

事業名：平成28年度地域内フィーダ系統

目的 計画 目標 (P)

＜計画＞桜井市生活交通確保維持改善計画

＜上位計画＞桜井市第5次総合計画、第2次桜井市地域公共交通総合連携計画

＜目的＞第2次桜井市地域公共交通総合連携計画に基づき、公共交通空白地域の解消、生活交通の確保を目的とする。コミュニティバスは、市内在住者の生活交通の確保、及び桜井市に來訪された方を対象とした観光路線としての役割を担っている。また、デマンド型乗合タクシーを運行している東部は、コミュニティバス小夫線が休止となった地域であり、代替路線として運行している。

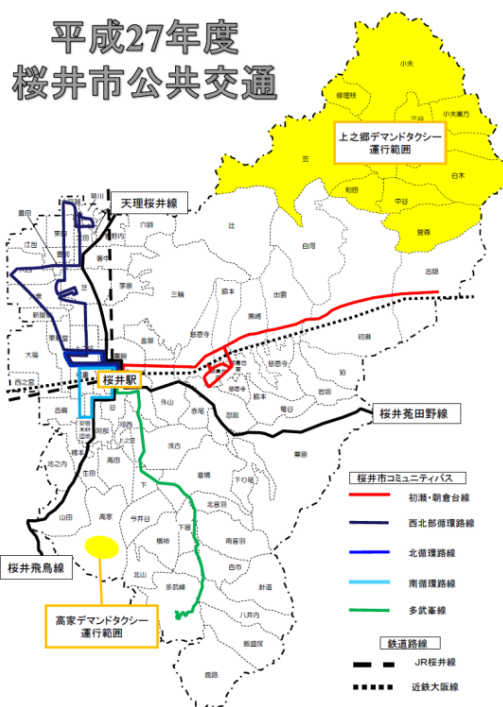
	初瀬・朝倉台線	循環線	多武峯線	デマンド
目標値(人/便)	4.4	4.0	7.3	5.7

具体的取り組み (D)

	運行区間	運行回数	運賃制度
コミュニティバス多武峯線	桜井駅～談山神社	平10/休8.5	距離運賃制
コミュニティバス初瀬・朝倉台線	桜井駅～吉隠	平9.5/休7	距離運賃制
コミュニティバス南循環線	桜井駅～済生会中和病院	毎日6	190円均一
コミュニティバス西北部循環線	桜井駅～市西北部	平3	190円均一
デマンドタクシー	市東部～済生会中和病院	週3日 10回	500円均一

概要図・参考資料

平成27年度 桜井市公共交通



【市の概要】

人口：58,659人(平成27年12月)
面積：98.92平方キロメートル
高齢化率：29.2%(平成27年12月)
系統数：4路線9系統
(内国庫補助8系統)

【運行回数】

コミュニティバス 1日平均9.5回
デマンド 週3日 計10回

【自治体負担額】

(コミュニティバス、デマンド合計)
平成24年度 33,088千円
平成25年度 34,681千円
平成26年度 33,796千円
平成27年度 48,750千円

【協議会等開催状況】

平成28年5月30日 第1回協議会
平成28年1月30日 第2回協議会

取組みに対する評価 (C)

コミュニティバス多武峯線は5.4人/便(目標7.3人/便)となり、目標達成には至らなかった。生活利用・観光利用両面で利用者数が減少している。コミュニティバス初瀬・朝倉台線は2.9人/便(目標4.4人/便)となり、目標値を下回っている。コミュニティバス西北部循環線は4.2人/便(目標4.0人/便)、南循環線は4.0人/便(目標4.0人/便)となり、目標値を達成できた。デマンド型乗合タクシーは年間利用者が1,875人(4.0人/便)となり、一定の評価をいただいている。

自己評価から得られた課題、対応 (A)

＜課題＞ニーズに合わせた路線形態の再編、利用啓発

＜対応＞平成27年6月に再編した路線の中で、実績がふるわない路線については利用啓発を行うと共に、利用者が少なくなっている原因を分析し、路線に反映する。目標値以上に利用いただいている路線については、どのようなニーズに合致したのか分析を行い、さらなる需要の掘り起こしを図る。

アピールポイント、特に工夫した点など

平成26年度に公共交通のニーズ調査を行い、平成27年6月に大規模なコミュニティバスのルート・ダイヤ再編を行った。循環路線は新規路線となるため、2年間の実証運行とし、平成29年度以降の本格運行に向けて分析しているところである。

公共交通の利用啓発事業について

○ 外国人向け周遊乗車券

【概要】

現在、奈良県内には海外からたくさんの観光客が訪れているが、奈良市止まりで桜井市まで来られる方が少ない状況である。そこで、市内を運行しているバスが1日乗り放題になる周遊チケットを作り、観光案内施設等で無料配付することで利用振興を図る。



【対象路線】

- ・ 桜井市コミュニティバス3路線（初瀬・朝倉台線、循環線、多武峯線）
- ・ 奈良交通路線バス3路線（天理桜井線、桜井菟田野線、桜井飛鳥線）

【実施状況】

外国人観光客に向けた情報発信の拠点である「猿沢イン」（奈良公園猿沢池近隣）にて平成28年12月から配布開始。

○ 住民向けバスマップ（仮）

【概要】

公共交通に関するアンケートを実施した際、地域住民が公共交通を利用しない理由として、「乗り方がわからない」「行き先がわからない」といった意見が多く見受けられる。そこで、買い物や通院などの目的に合わせた各地域からのモデルルートに記載したバスマップを作成し、配付することで、公共交通の利用を促す。

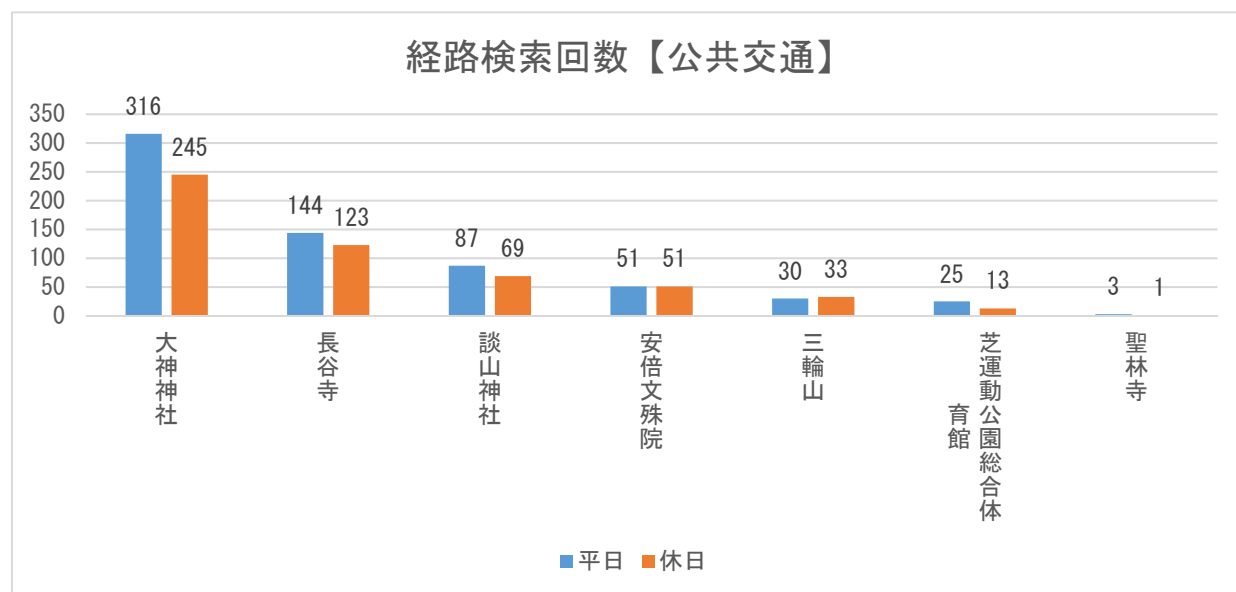
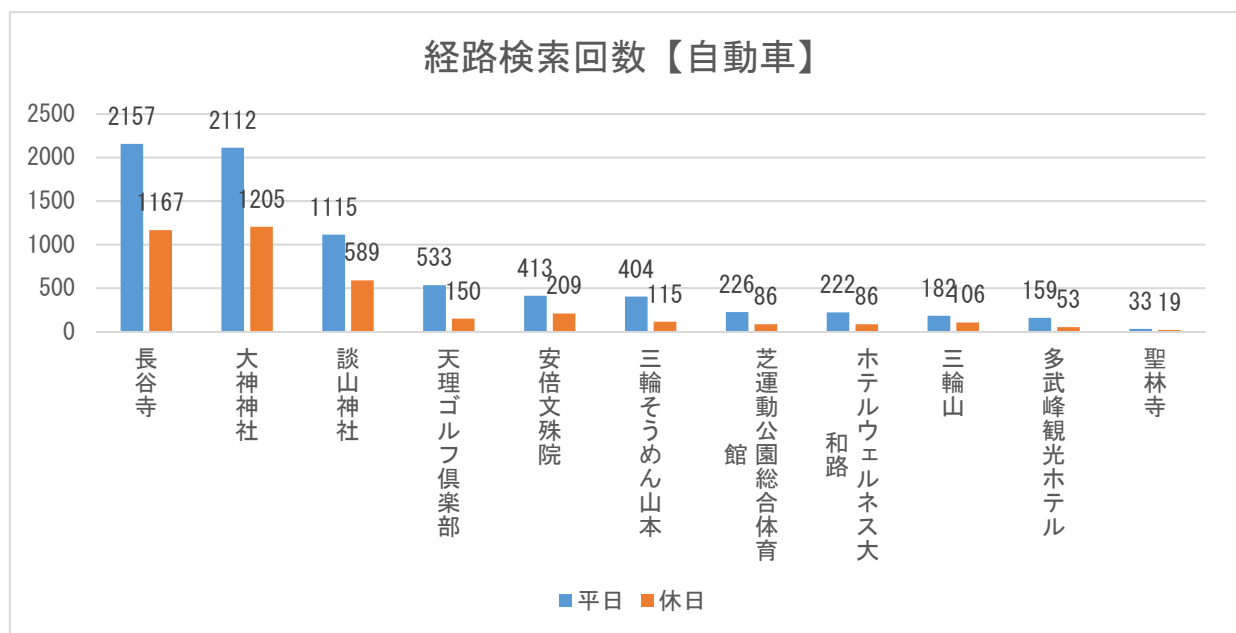
【実施状況】

昨年度作成した「桜井市 バスマップ&主要施設マップ」の、地域を限定したバージョンを作成し、配付する。



交通手段別 桜井市の観光施設への経路検索回数

(2015年の月平均・ユニーク数「地域経済分析システム」調べ)



観光施設別総観光客数

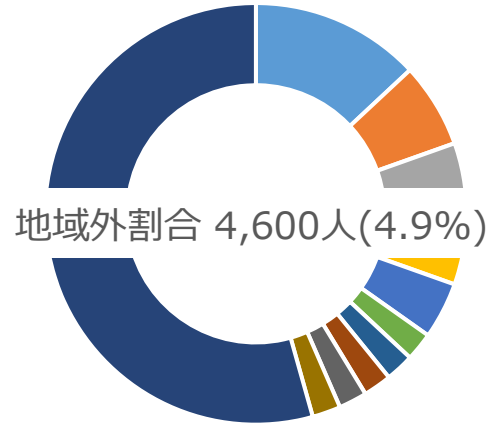
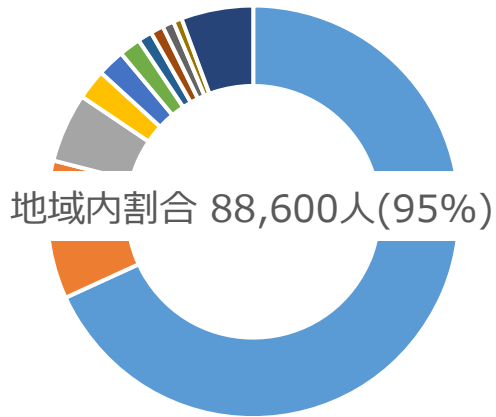
(平成27年度・非ユニーク数 桜井市観光まちづくり課調べ)

大神神社	6,000,000
安倍文殊院	732,928
長谷寺	235,200
談山神社	111,800
等弥神社	102,000
笠そば	87,389
聖林寺	19,000
埋蔵文化財センター	5,721
石位寺	1,665

桜井市への観光客の From-to 分布

(2015 年の月平均・ユニーク数 「地域経済分析システム」調べ)

平日



休日

